

様式第6号（第5条関係）

政 務 活 動 費 実 績 報 告 書

平成30年3月31日

久慈市議会議長 様

会 派 名 創政・公明クラブ

代表者名 山 口 健 一

政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	☐ 調査研究費	☒ 研修費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	平成30年3月29日～3月30日				
実施場所	東京都豊島区池袋（アットビジネスセンター）				
参加者名	5人（山口健一、下川原光昭、二子賢一、桑田鉄男、八重櫻友夫）				
実 績 額	311,000 円				
内 容	別紙参照				

別 紙

私たち創政・公明クラブ5人は、平成30年3月30日開催の地方議会総合研修所主催「質問力・議会力」レベルアップ講座を受講してまいりました。

研修会には、全国から58人の市町村議員が参加。研修は『「政策議会」としての自治体議会と政策資源としての一般質問』と題して始まりました。

最初に、『「政策・制度」と自治体』ということで、政策の目的は課題解決のための手段、それが政策ではないということで、市民の生活を守ることが目的ではないとのことでした。

次に、政策議会とは何か、課題は無限にあるが資源（予算）は有限、政策には必ず複数の選択肢があり、政策は、現在から出発し「描いた未来」へ到達するための手段であり、あらかじめ分かっている正解がなく、正解がない中で決断しなければならず、自治体としての最終的な権限は議会にあるとし、そこで議会としての議論が重要であると結論していました。

次に、政策議会は可能かということで、議会改革と政策議会のあり方では、社会にある多様な意見を公開の場で議論すること、すなわち①議論して決める（議員間討議）、②市民と議会の関係（議会報告会）、③議論の意思決定の過程（情報公開）の3点が重要である。委員会などの議員間討議は、議論するタイミングが重要で、意思形成につながる自由な議論をしやすいのは、決定する時期から遠い質疑の前が良いとのことでした。

また、定例会などの後に、議会運営をめぐって評価、問題提起、議論する場を作り、共通認識の醸成が重要となってくるとのことでした。

午前中の研修の最後は、テーブルの前後の議員同士での意見交換。沖縄県中城村の新垣議員からは、人口2万人ほどの村で人口減少がない、議員定数17人で毎回全員が一般質問を行う、質問項目が重なる場合でも調整することなく視点を変えて質問しているとのことでした。

午後からは一般質問のあり方について研修。一般質問とは、すべての議員が市政に関わる全てのことを議長の許可を得て質問することができ、所管の委員会に所属して

いなくても、議案にないことの質問や自由な意見の表明もでき、それに対する執行部見解を得ることができる。これが一般質問の意義で、改めて一般質問のあり方を認識しました。

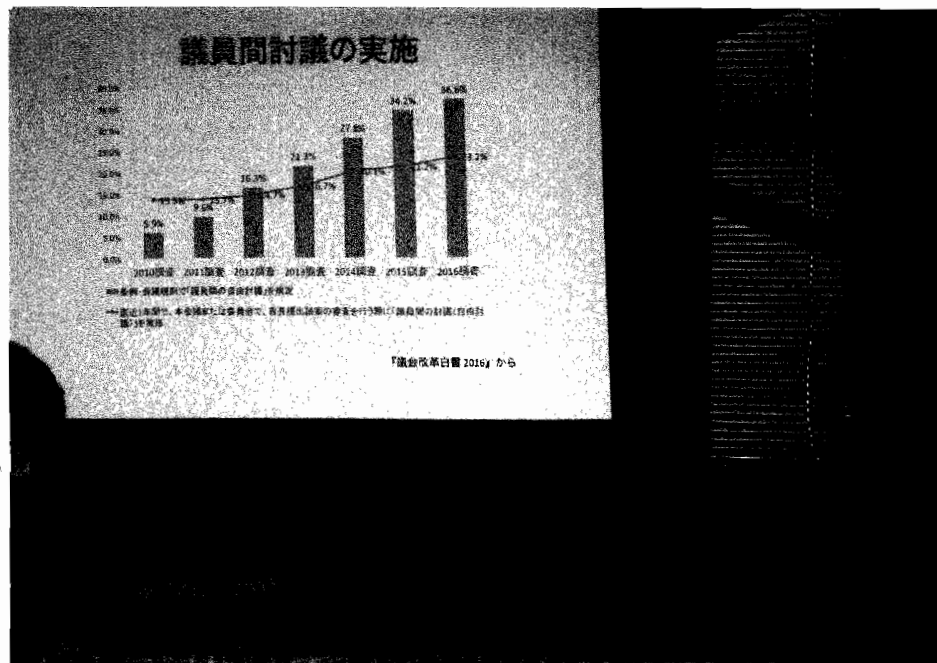
また、せっかくの一般質問で、残念な質問やもったいない質問も多くみられると指摘。機能する一般質問は、事実・分析・主張で構成されており、論点を鋭くし、争点性を高めることが大事である。良い一般質問は次の4点が大事で、一般質問の議論を通じて納得にたどりつくことが重要との説明を受けました。

- 1 何が問題なのか明確でその論点提起に納得させられるか。
- 2 問題を「問題だ」という情報が入っているか。
- 3 政策提言が具体的で、わがまちの状況を反映しているか。
- 4 聞いてわかりやすく、伝わっているか。

次に、政策議会としての一般質問の問題では、個人の一般質問を議会みんなのものにすることが大事で、議員間連携や関連質問などを通じて、一般質問の中から議会として取り上げる質問（常任委員会）など、議会として政策につなげることが今の議会に求められているとのことでした。

政策議会としての一般質問のあり方については、①議会が信頼を得る、議会がいるからと市民から信頼を得ること、②市民の課題（議会報告会）を通して議会の提言になりうる論点、③政策資源として政策は個人思考から生まれ、それをフラッシュアップして優れた政策とするルート（システム）、が重要であると結論していました。

今回の会派の研修は、議会からの政策提言に向け、現在、久慈市議会が目指していることを再確認することができましたし、今後の一般質問の方向性を考えるためにも大変有意義なものとなりました。



領収証

No.

創政・公明クラブ 様

平成 30 年 3 月 30 日

金 額

¥125,000

内

消費税等

現金

但 3月30日セミナー受講料として

上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

係



領 収 証

創政・公明777 殿

No. [redacted]

平成 30 年 4 月 6 日

¥ 186,000 -

(現金・振込・小切手)

内 容	種 目	旅行年月日	行先(又は品名)	内 訳
		3/29~30	東京	旅費宿泊費

上記金額正に領収致しました。



岩手県久慈市川崎町16-5
株式会社 岩手県北観光
久慈支店 支店長 帷子靖 謹
TEL (0194) 53-52221

扱者印

※金額訂正又は扱者印なきものは無効

[illegible]